

校長室だより

# うんとこしょ どっこいしょ THE HEADMASTER'S REPORT

第66号

令和7年11月18日

渋谷区立 代々木 中学校長 駒崎 彰一

## 「つながる菜園プロジェクト」collaboration 企画 土づくりプロジェクト キックオフ

校長室だより第64号で募集しました「土づくりプロジェクト」。本日キックオフです！  
コンポスト始動の様子をレポートします！



区内の技術科の教員（渋谷区立中学校教育研究会）と有志生徒でコンポスター（堆肥枠）の制作開始！

サイズ：124×124×H80(cm)

容量：1100L

重量：40kg

材質：ポリエチレン

市販品です。4万円ほどで購入できます。



流石・・・技術科「匠」の技！  
50分ほどでキッチリ完成！  
40kgあるコンポスターを  
設置場所に移動



設置場所は事前に除草して  
均していきます



この夏に咲いた向日葵を堆肥化していきます！  
種子もしっかり採取・・・来年も咲かせましょう！





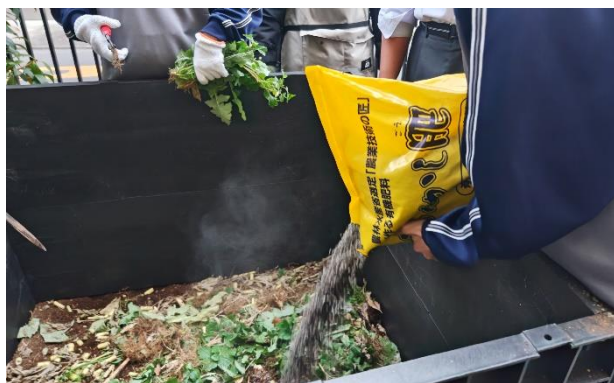
参加者全員で作業開始！  
最初は、微生物🌱の皆さんが分解しやすいように向日葵を3cmほどにカット  
参加者で自己紹介しながら  
和やかにスタートしました

細かくカットされました！



微生物🌱 大量の「ぼかし肥料」を20kg投入

ぼかし肥料とは油かす、魚かす、骨粉、鶏ふん、牛ふん等の複数の有機肥料を土と混ぜて発酵させた、農家の自家製有機肥料で微生物が詰まっています。（農場のにおいが・・・）



微生物🌱が大好きな「米ぬか」を投入  
これを入れると急速に分解が進みます  
いわゆる「ブースター」です！  
独特のにおいが・・・気になります

街中コンポストでは「におい」に注意が必要です。

そこでコーヒーの豆カスを10kg投入しました！ さわやかなコーヒーの香りに！

今回は「スターバックス 渋谷文化村前店」からいただきました。







忘れてはいけないのが「水」です  
コンポストでは40～60%の水分量を保つことが重要です。  
水分が多すぎると腐敗し、少なすぎると微生物が活動できません。  
水分が適切かどうかの目安は、発酵床を握って水が染み出さず、手を開いた時に形が崩れない状態と言われています。

学校で大量に排出されるシュレッダーカスも分解してくれます。  
水分バランスを調整しやすい資材です。  
大量に投入しました。

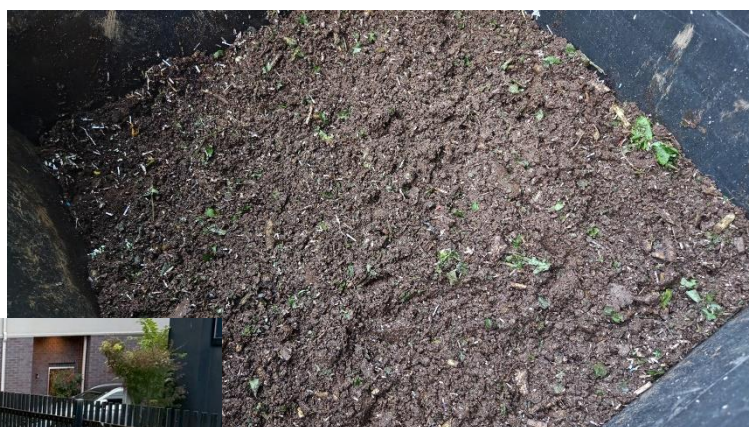


最後は・・・とにかく混ぜる⇨混ぜるが大切  
混ぜることを「切り返し」と言います。

これは、酸素供給：堆肥化は主に酸素を好む好気性微生物によって行われます。切り返しによって堆積物の内部に空気（酸素）を供給し、微生物の働きを活性化させます。また、発酵の促進と均一化：全体をまんべんなく混ぜることでと外部の材料が均一に発酵し、堆肥化のスピードが上がります。



作業終了！  
発酵床 きれいに仕上がりました  
ビニールシートをかぶせて  
微生物🌱の働きを待ちます💛



次回は11月27日（木）15時30分  
玄関付近コンポスターの脇に集合！

生徒・保護者・教員・地域関係者等の  
のだれでも参加できるプロジェクトになります

汚れてもよい服装で集合してください

継続参加希望者にはオープンチャットにて情報共有をしていきます！参加すると登録できます